

V. 東日本大震災被災地の
小児保健に関する調査研究班

公開シンポジウム

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班公開シンポジウム
大震災から子どもたちをどう守れるか

日時 平成26年1月26日(日) 13:00~16:30
会場 仙台国際センター 3階 白樺1 (開場12:30)

プログラム

開会のごあいさつ

厚生労働省
桑島 昭文

被災3県の小児科医療機関の被災状況

東北大学
田中 総一郎

震災時に小児科医が果たすべき役割

大阪大学
中村 安秀

子どもの発育状況に関する研究

東北大学
栗山 進一

被災地における子どものメンタルヘルスについて

—問題行動を中心に—

国立成育医療研究センター
藤原 武男

福島県における子どものメンタルヘルスについて

—ナラティブを中心に—

福島県立医科大学
増子 博文

閉会のごあいさつ

東北大学
呉 繁夫



参加費!
無料

【主催】 東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班
<http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth/>
【問い合わせ先】 東北大学小児科内事務局 TEL: 022-717-7289

プログラム

12：30 開場 受付開始

13：00～13：10 開会のあいさつ

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 母子保健課課長

桑島 昭文

13：10～13：25 被災3県の小児科医療機関の被災状況

東北大学 大学院医学研究科 発生・発達医学講座小児病態学分野准教授

田中総一郎

13：25～14：25 震災時に小児科医が果たすべき役割

大阪大学 大学院人間科学研究科 国際協力学講座教授

中村 安秀

14：30～15：10 子どもの発育状況に関する研究

東北大学 大学院医学系研究科環境遺伝医学総合研究センター 分子疫学分野教授

栗山 進一

15：20～15：50 被災地における子どものメンタルヘルスについて：問題行動を中心に

独立行政法人 国立成育医療研究センター 成育社会医学研究部部長

藤原 武男

15：50～16：20 福島県における子どものメンタルヘルスについて：ナラティブを中心に

福島県立医科大学 神経精神医学講座講師

増子 博文

16：20～16：30 閉会のあいさつ

東北大学 大学院医学研究科 発生・発達医学講座小児病態学分野教授


呉 繁夫

I 被災3県の小児科医療機関の 被災状況

東北大学 大学院医学研究科

発生・発達医学講座小児病態学分野 准教授


田中総一郎



**大震災から子どもたちを
どう守れるか**

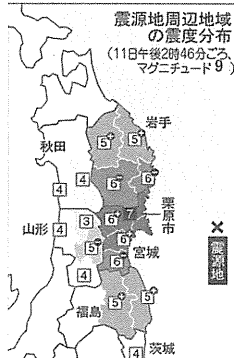
被災3県の小児科医療機関の被災状況

東北大学小児科
田中総一郎



3. 11東日本大震災

2011年3月11日14時46分
東日本大震災 三陸沖震源 M9.0
死者15,884人(1月11日警視庁)
行方不明者2,640人
災害関連死 2,688人(1部9県)
(3月31日復興庁)
避難者 約294,000人
(7月31日復興庁)



東日本大震災の医療現場

- 阪神淡路大震災では、8割が圧死・外傷による死亡
- 東日本大震災では、溺死90.5%、圧死4.5%、焼死1%
(津波による被害が大きかった)



**震災時の小児保健医療
に関する調査研究**

- 地震そのものによる被害
- 津波による被害
- 原子力発電所事故による被災と混乱

小児保健医療に関する調査

■ アンケート調査内容

1. 医療機関の属性
2. 人的・物的被害状況
3. 被災後の診療状況と復旧
4. 投薬状況(日数制限、調剤薬局)
5. ライフラインの被害状況
6. 防災課題の重要度認識と実際の取り組み
7. 慢性期疾患の患者管理

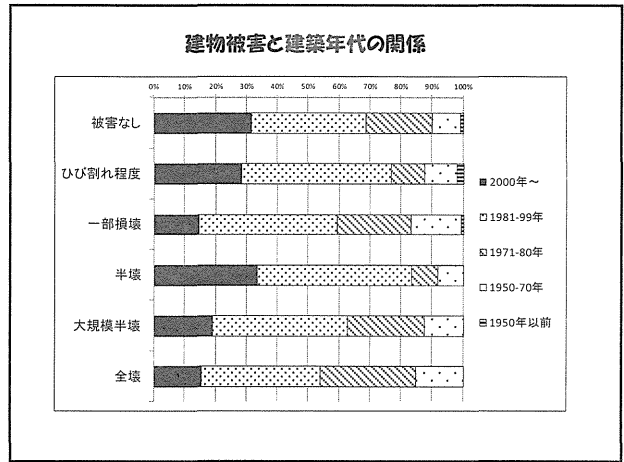
郵送数と回収数

	郵送	回収	回収率	200床以上	20~200床	20床未満	小児受診数ゼロ
岩手県	159	50	53.5%	12	13	56	9
宮城県	403	114	49.6%	16	16	161	16
福島県	518	80	35.3%	15	11	147	15
合計	1080	468	43.3%	43	40	364	40

被災3県で「小児科」を標榜している医療機関を対象として郵送小児受診数ゼロは、調査の対象から除くこととした

建物の被害

	全体		岩手県		宮城県		福島県	
	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所
被害なし	9	82	5	25	2	29	2	28
壁のひび割れ程度	32	150	11	11	9	72	12	67
一部損壊	30	66	6	6	17	31	7	29
半壊	0	6	0	0	0	2	0	4
大規模半壊	3	12	1	1	1	9	1	2
全壊	0	13	0	6	0	4	0	3
		28						

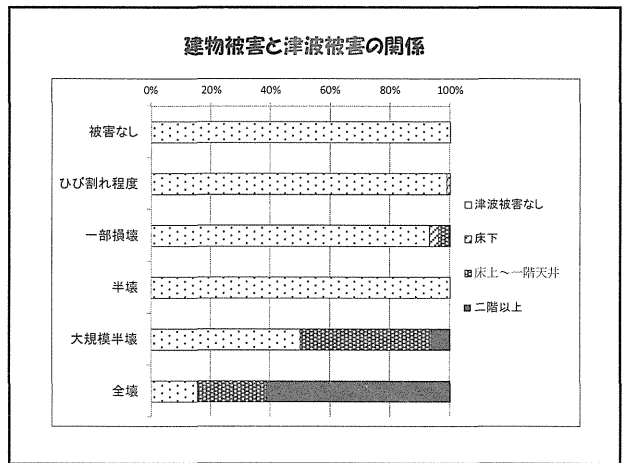


建物の被害

	全体		岩手県		宮城県		福島県	
	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所
被害なし	9	82	5	25	2	29	2	28
壁のひび割れ程度	32	150	11	11	9	72	12	67
一部損壊	30	66	6	6	17	31	7	29
半壊	0	6	0	0	0	2	0	4
大規模半壊	3	12	1	1	1	9	1	2
全壊	0	13	0	6	0	4	0	3
		28						

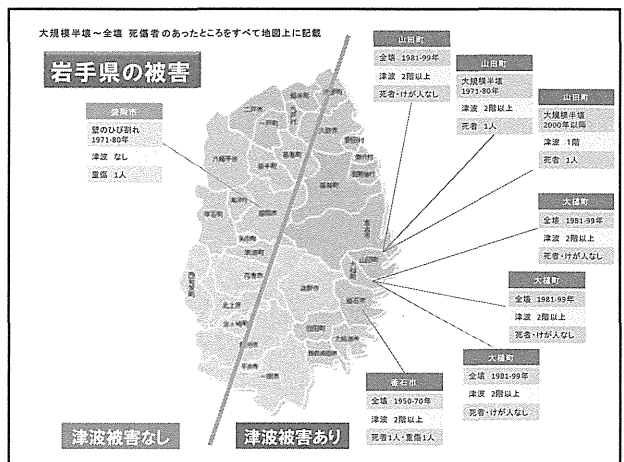
津波による被害

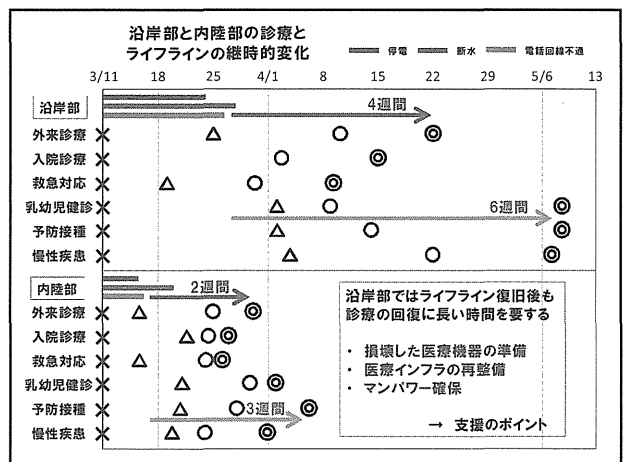
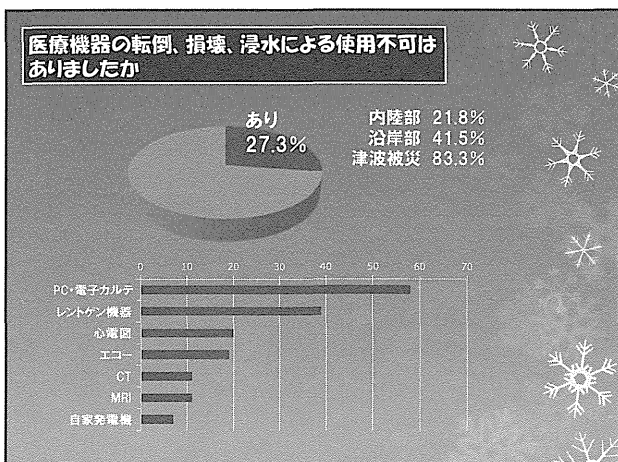
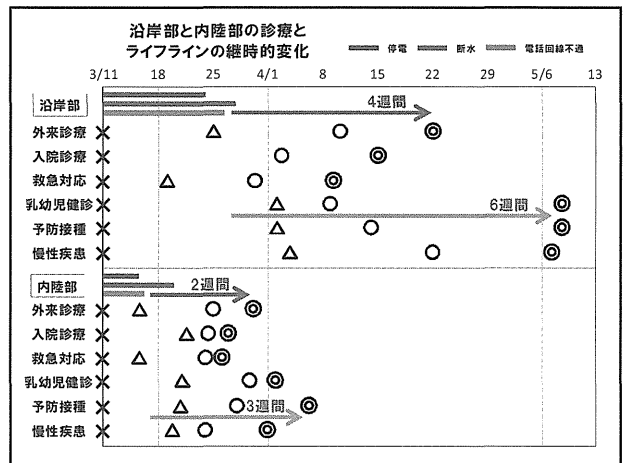
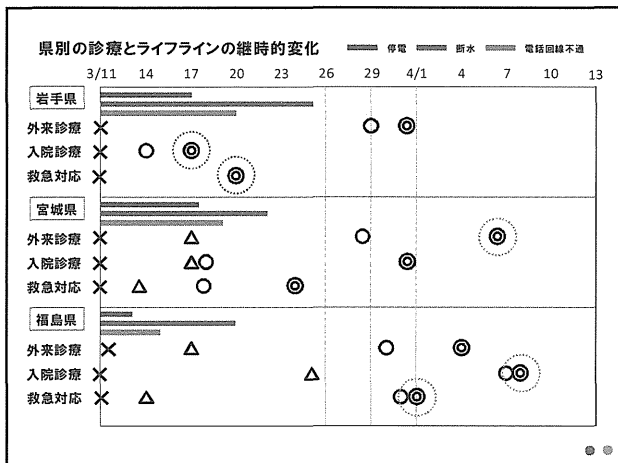
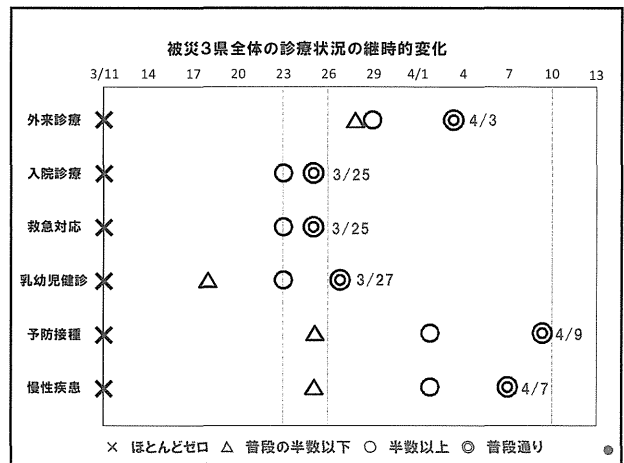
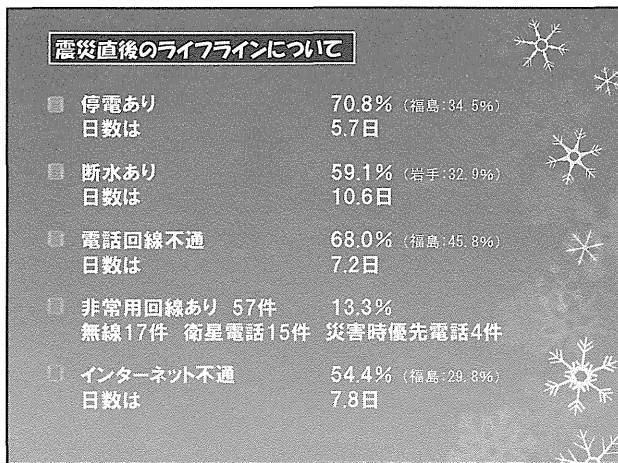
	全体	岩手県	宮城県	福島県
なし	392	67	165	160
床下	4	0	3	1
一階床上一階天井	16	2	12	2
二階以上	9	7	2	0
	29			

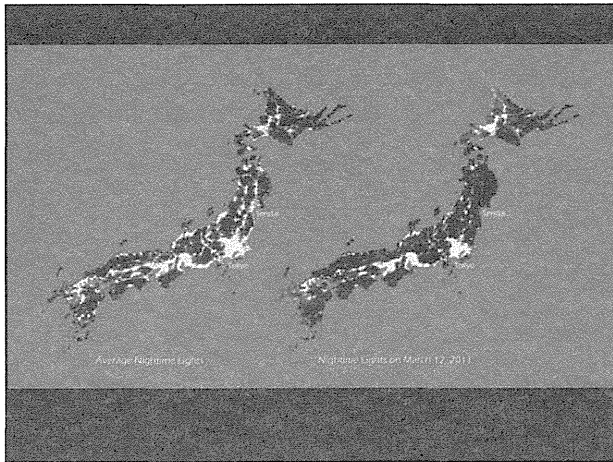


職員の方の被害

	全体	岩手県	宮城県	福島県	備考
死亡	12	5	3	4	山田町3人、釜石市2人、石巻市3人、相馬市3人、南相馬市1人
行方不明	3	0	2	1	大崎市1人、仙台市宮城野区1人、相馬市1人
重症	2	2	0	0	釜石市1人、盛岡市1人
軽傷	9	0	9	0	石巻市4人、塩沼市1人、仙台市宮城野区1人、仙台市太白区3人
	26				







停電対策について

- 自家発電機を
 - 震災前から準備していた 25.0% 岩手39.5%
 - 震災後購入した 8.6%
 - まだしていない 63.8% 福島69.0%
- 電気が実際に使えなかった日数は
 - 3.8日間 宮城6.0 福島0.6
- 燃料の備蓄は
 - 震災前は 4.6日間
 - 震災後変更した 19.5%
 - 何日分追加したが 5.4日間
 - 震災後変更していない 80.5%

人工呼吸器・在宅酸素・吸引器が必要な子どもたち

自家発電機	足踏式吸引器
<p>10万5千円</p> <p>*** ホンダEU91-GB エネポ</p> <p>カセットボンベタイプは駆動時間は短いメンテナンスは楽で家庭用として適している</p>	<p>1万3千円</p> <p>新鋭工業製 足踏み式吸引器 KFS-400</p> <p>気管切開では両手が使えない足踏式が適している</p>

ヘルプカード

① 医療情報などのメモを常に身につけておく

子どものくすり(シロップ・こな)は種類・量がわかりにくい
くすり情報がわからず、処方できなかった

● 医療機関とご家庭のコラボが重要

HELPカード

緊急連絡先

① 石川 太郎 (父)
携帯番号 090-0000-0000

② 石川 花子 (母)
携帯番号 090-1111-1111

ふりがな いしかわ けん
氏名 石川 健 (10才) かかりつけ医療機関
生年月日 平成8年 〇月 〇日生 石川〇〇病院 小児科
血液型 O型 Rh(+)

電話番号 000-000-0000

SHIKAWA HELPカード

取扱注意 個人情報

学校または通所場所
名 姓 石川 太郎 石川県立〇〇養護学校
電話番号 000-000-0000
障害の種類: 身体障害
アレルギーの有無: 有・()アレルギーの種類: 卵にのみ
投与薬の種類
てんかん薬 Δ〇×〇 10mg 2x1

緊急時の対処
てんかん発作の時間を計りながら体を横たせ、発作が5分以上続いたら緊急室を呼んで医療機関に搬送してください。

平成19年
能登半島地震の経験から
石川県肢体不自由児協会
石川県肢体不自由児・苦父母の会
みずからを守るために作成

まとめ

- 被災3県の小児科医療機関を対象に調査を行った
- 建物の被害は津波による被害が大きく関与していた
- 被災後一週間は
 - 外来診療の54.7%が不可・制限
 - 薬剤流通不足で処方日数制限
 - 調剤薬局は15.3%が営業しなかった
- 診療復旧の過程には、以下の点が重要であった
 - ライフラインの復旧
 - 損壊した医療機器の準備
 - 医療インフラの再整備
 - マンパワー確保

II 震災時に小児科医が果たすべき役割

大阪大学 大学院人間科学研究科

国際協力学講座 教授

中村 安秀